



Title	韓国語母語話者のスタイル切換え
Author(s)	李, 吉鎔
Citation	阪大社会言語学研究ノート. 2002, 4, p. 73-93
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/23197
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

韓国語母語話者のスタイル切換え

李 吉鎔

1. 調査の概要

1.1. インフォーマント情報

[表 1^{*1}]

出身地	母語	年齢 ^{*2}	日本語学習歴 / 居住歴	専門	職業 (学年)
KA 韓国安養	韓国語	24	国で7年(週3時間)、来日後1-2ヶ月	日本語	専門学校生
NC ネパール	ネパール語	26	来日後2年	システム工学	学部研究生
BF ブラジル	ポルトガル語	24	国で5年、来日後3年	日本語学	学部研究生
JC 兵庫県	日本語	21	0-19: 兵庫県 20-: 大阪府	経営学	学部4年生
JF 新潟県	日本語	24	18-22: 富山県 23-: 大阪府	日本語学	修士2年生
JT 奈良県	日本語	30	0-22: 奈良県 23-: 大阪府	日本語学	助手

*1 話しやすい相手の順番: NS 親 > NNS 疎 > NS 疎 > NNS 親 > NS 教師

*2 対 NNS 親の収録日が二人の誕生日であったが、年齢は加算していない。KA は NC とアルバイト先で知り合ったのだが、NC の年齢が自分より上であることを強調していた。

1.2. 談話情報

[表 2^{*1}]

	話者	話者間の関係	収録時間	談話の展開
対 NNS 親	KA-NC	日本語非母語話者(親)	70分	KA が主導している
対 NS 親	KA-JC	日本語母語話者(親)	70分	JC が質問し、KA が答える
対 NNS 疎	KA-BF	日本語非母語話者(疎)	70分	同等に話している
対 NS 疎	KA-JF	日本語母語話者(疎)	70分	JF が質問するが、同等に話している
対 NS 教師	KA-JT	日本語母語話者(教師)	70分	JT の質問に KA が答え、JT がまとめる

*1 これらの談話のうち4談話は2001年5月に収録したが、対 NNS 親のみが7月の収録となった。KA は、対 NNS 親の収録前にアルバイトを開始しており(5月17日)、アルバイト先でくだけた話し方および大阪のことを習っていると報告している。

2. 結果および考察

2.1. 自称詞

2.1.1. 結果

[表 3^{*1}]

	対 NNS 親	対 NS 親	対 NNS 疎	対 NS 疎	対 NS 教師
ワタシ	67	82	82	92	110
ボク	3	1	-	-	-
オレ	2	2	-	-	-

*1 一人称代名詞の複数形は用いられていない。

- (1) 自称詞に関しては、すべての場面で「ワタシ」が圧倒的に多く使用されていると言う点で、顕著なスタイル切換えは見られない。

- (2) しかし、親の談話（対 NNS 親・対 NS 親）で、わずかながら「ボク」・「オレ」が出現している。

2.1.2. 解釈

- (a) 現時点において自称詞はスタイル切換えの対象となっていないが、対 NS 親において、「ため口とは「ワタシ」の代わりに「ボク・オレ」を使うことだ」と説明しており、「ワタシ」対「ボク・オレ」をスタイル切換えの項目として認識していることがわかる。しかし、対 NNS 疎においては、友人の発話を直接引用する時に「ワタシ」を用いている。ここから、「ワタシ」対「ボク・オレ」といったスタイル切換えの意識はもっているものの、スタイル切換えの能力が備わっていないことが考えられる。

[1]

→1910KA:わだしに[私に]『もう 手紙 送ります』とか (BF:笑) ここには ちょっと inteo ネット [インターネット] 無理なんですから、(BF:うんうん) どもだちたちが [友だちが]『送ります』とか『送る わだし [私] 送りk 送るから 待ってて』とか… [笑]。(BF:いいね。)

[対 NNS 疎]

- (b) 日本語の話しことばに慣れ始めた対 NNS 親でも、依然「ワタシ」が圧倒的に多いが、積極的に「ボク・オレ」を使おうと試みており、スタイル切換えの能力を徐々に習得してきていると思われる。従って、自称詞は今後スタイル切換えの対象となる可能性が高く、その時期も遠くないと予想される。

ため口とは「ワタシ」の代わりに「ボク・オレ」を使うことだと説明していることや韓国語の一人称代名詞（自称詞）がフォーマルな「저」とカジュアルな「나」の二項対立である点を考えると、将来のスタイル切換えはフォーマルな「ワタシ」対カジュアルな「ボク・オレ」の2項対立となると思われ、「ワタシ」対「ボク」対「オレ」の3項対立にはならないか、なるにしても遠い先であろうと予測される。

2.2. 対称詞

2.2.1. 結果

[表 4^{*1}]

	対 NNS 親	対 NS 親	対 NNS 疎	対 NS 疎	対 NS 教師
名前サン	2	-	-	-	-
名前の呼び捨て	-	2	-	-	-

*1 「アナタ」・「キミ」・「オマエ」等の二人称代名詞は用いられない。「オマエ」が直接引用されていることもあるが、聞き手目当てではないため、除外した。

- (1) 対称詞は親の相手には、「名前系」の対称詞を用いているが、疎の相手には対称詞を用いないという点で、スタイル切換えの対象となっている。

2.2.2. 解釈

- (a) 親の相手には「名前系」の対称詞を用い、疎の相手には対称詞を用いないという点でスタイル切り換えを行っており、場面がスタイル切り換えの基準となっていることがわかる。
- (b) 疎の相手には、対称詞を用いていない。§2.1.自称詞の結果と対比してみると、対称詞が回避されていると思われる。もし対称詞が回避されたと仮定するならば、それには2つの要因が考えられる。まず1つは、対称詞が話し相手の待遇に最も敏感な言語形式である点が挙げられる。そこで「アナタ」・「キミ」・「オマエ」等の二人称代名詞が回避されるのであろう。もう1つの要因は、データの収集法によるものであろう。本研究では、2人1組の調査場面でデータを収集しており、特に話し相手に言及しなくても会話に差し障りがあるわけではない。従って、サンづけなどの対称詞も回避され得るのであろう。後者の要因は、親の場面での対称詞の少なさや相手がKAを指すことばが少ないこと（対NNS親：5例、対NS親：2例、対NNS疎：0例、対NS疎：18例、対NS教師：0例、全25例はすべて「姓サン」）にも関連すると思われる。

さらに、疎の相手に対称詞が回避されていると思われるもう1つの証拠に、疎の場面で、「オマエ」が直接引用で用いられていることが挙げられる（対NNS親、対NS親、対NS教師に各1例）。§2.1.の自称詞の場合は、友人の発話を直接引用する時にも「ワタシ」を用いており、スタイル切り換えの能力が習得されていないと考えられた（§2.1.2.(a)を参照）が、対称詞に関してはスタイル切り換えの能力を習得した上で、回避されたものと考えて良いだろう。

2.3. 親族名称

2.3.1. 結果

〔表5^{*1}〕

	対NNS親	対NS親	対NNS疎	対NS疎	対NS教師
チチ／ハハ	-	4	1	1	10
オトウサン系	2	11	9	6	19
ソフ／ソボ	-	3	3	1	9
オジイサン系	-	-	-	-	1

*1 表5のオトウサン系にはオカアサン、オジイサン系にはオバアサンが含まれる。

- (1) 親族名称のうち、自分の両親のことは、主に「オトウサン」・「オカアサン」を使っており、明確なスタイル切り換えは見られない。しかし、疎の相手や教師に対しては「チチ」・「ハハ」の比率が増えている。
- (2) ところが、「オジイサン」・「オバアサン」はほとんど使われず、「ソフ」・「ソボ」が主に使われている。

2.3.2. 解釈

- (a) 表5を見る限りでは、親族名称の使い分けはスタイル切換えに関わらないように思われる。しかし、談話例〔2〕のように「オトウサン」を「チチ」に言い換えており、親族名称のうち、「チチ」・「ハハ」対「オトウサン」・「オカアサン」は、スタイル切換えの項目として認識していると思われる。

〔2〕

→1534KA: おとう あの 父の 親戚は、(JT:うん) その辺 ソウルとか、(JT:近いよね ええ) あの
下とか suweonとか、(JT:うん) してる して いるんですけども、 [対NS教師]

Follow-Up Interview からは、「オトウサン・オカアサン」は敬意度の高い表現として捉えられ、その反対に「チチ・ハハ」は敬意度の低いものとして捉えられていることが明らかになった。日本語では身内を高めないという意味で「チチ・ハハ」を用いるべきだと内省しているが、韓国語の影響で敬意度の高い「オトウサン・オカアサン」が言いやすく、その結果が談話例〔2〕に現れていると考えられる。ただし、場面や話し相手による使い分けに関する意識は不明である。

- (b) 「ソフ」・「ソボ」の使用は、スタイル切換えに関与せず、固定的な使用であると考えられる。その要因として、「チチ・ハハ」や「オトウサン・オカアサン」に比べて、発話のチャンスが圧倒的に少ないことが挙げられると思われる。また、「オジイサン・オバアサン」は一般に韓国人に難しいとされる長音があり、短音で発音される「オジサン」・「オバサン」との区別が紛らわしいことから、回避される可能性もある。このことは Follow-Up Interview によって確認され、さらに自己紹介の時などで「私の祖母は～」と使っていたので、「ソフ・ソボ」が使いやすいという報告を得ている。
- (c) つまり、親族名称については敬意度を軸にしたスタイル切換えの項目として認識しているが、その使い分けは発話時における言いやすさによると考えられる。

2.4. 原因・理由の接続詞および接続助詞

2.4.1. 結果

〔表6 接続詞〕

	対 NNS 親	対 NS 親	対 NNS 疎	対 NS 疎	対 NS 教師
ナノデ ^{*1*2}	-	2	4	-	18
ダカラ ^{*2}	24	12	15	14	21

*1 対 NNS 疎の「ナノデ」には、「ソノデ」という誤用1例も含む。

*2 「ナノデ」と「ダカラ」は原因・理由の機能以外に、単なる順接の機能で幅広く使われることもあるが、ここでは全てカウントした。

〔3〕

1686KA: たぶん なん 一年ぐらい つつと [ずっと] ここに [そこで] 勉強したら たぶん できると
思ったんですけども、(JT:うんうんうん) そのときに [その時に] 日本語 学院と 英語学

〔英語の学院〕 二つ、(JT:ふんふん) 行ったんですよ。

1687JT:ふん ふん

→1688KA: なので 英語 勉強して 日本語 勉強したんですけども、(JT:うん) 二つ 一緒 するから、

(JT:うん) 頭で 整理が…。

1689JT:英語 書こうと思っても 日本語 頭につて 感じ。

〔対 NS 教師〕

〔表 7 接続助詞〕

	対 NNS 親	対 NS 親	対 NNS 疎	対 NS 疎	対 NS 教師
丁寧体+ ノデ	3 (5.6)	1 (1.1)	1 (1.3)	2 (2.6)	5 (4.4)
丁寧体+ ンデ	15 (27.8)	-	-	-	-
丁寧体+ カラ	1 (1.9)	-	16 (20.3)	5 (6.5)	7 (6.1)
普通体+ ノデ	6 (11.1)	21 (22.1)	26 (32.9)	28 (36.4)	28 (24.6)
普通体+ ンデ	3 (5.6)	-	-	-	-
普通体+ カラ	26 (48.1)	73 (76.8)	36 (45.6)	42 (54.5)	74 (64.9)

- (1) 接続詞は、「ダカラ」がすべての場面で使用率が高い。しかし、最も改まった対 NS 教師では「ナノデ」の使用が目立ち、スタイル切換えの対象となっている。
- (2) 接続助詞「ノデ」は、フォーマルな場面で増えており、スタイル切換えに関わっている。日本語の話しことばに慣れ始めた対 NNS 親では、接続助詞「ンデ」が現れ始めている。

2.4.2. 解釈

- (a) 接続詞は、「ダカラ」が全場面で多く使用されているが、対 NS 教師では「ナノデ」の使用が目立つ。つまり、場面が改まるほど「ナノデ」を使用する傾向があり、接続詞をスタイルの違いとして捉えているようである。しかし、接続詞の「ナノデ」・「ダカラ」をより丁寧にした「デスノデ」・「デスカラ」の使用は見られない。このことは韓国語の接続詞が丁寧形式を伴わないことと関係があるかもしれない。
- (b) 接続助詞については、全場面で「カラ」の使用が多いが、「ノデ」がフォーマルな場面で若干増えている。緩やかではあるが連続的なスタイル切換えが行われていると見て良いだろう。そして、日本語の話しことばに慣れ始めた対 NNS 親では、くだけた言い方だと内省する「ンデ」が現れ始めている。ということは、「ノデ」対「カラ」の対立のみでなく、フォーマルな「ノデ」対カジュアルな「ンデ」が、スタイル切換えとして意識されていると思われる。

しかし、「ノデ」と「カラ」は、主に普通体に接続するが、「ンデ」は丁寧体に接続する割合が高い。KA にとって丁寧体が unmarked な形式である点 (§ 2.6.2.(b)参照) を考えると、新たに習得する形式は unmarked な形式に接続すると考えられる。今後は普通体に接続する「ンデ」が増えていくことが予想される。

2.5. 逆接の接続詞

2.5.1. 結果

〔表 8 接続詞*1〕

	対 NNS 親	対 NS 親	対 NNS 疎	対 NS 疎	対 NS 教師
デスクレドモ*2	-	-	-	-	2
デモ	-	1	1	1	-
ダケド*2	21	39	49	45	50

*1 「シカシ」・「ナノニ」は現れなかった。

*2 「ダケド」・「ケレドモ」は逆接の場合のみでなく、話題転換の場合など、幅広く使われているが、すべて対象とした。

〔4〕

1114KA: つつと [ずっと] 同じ質問 聞いて [聞かされて]、(JT:ふん) 同じ ちょっと かわったん
変わったかな。日の丸の問題 同じだったんですよ。

1115JT: うーうん

→1116KA: だけど あっ 済みませんが あの 今 教えて いる 専攻は……。 [対 NS 教師]

〔表 9 接続助詞*1〕

	対 NNS 親	対 NS 親	対 NNS 疎	対 NS 疎	対 NS 教師
丁寧体+ ノニ	-	-	-	1 (1.3)	1 (1.1)
丁寧体+ ガ	1 (1.3)	1 (1.4)	-	-	2 (2.3)
丁寧体+ ケレドモ	19 (26.0)	1 (1.4)	80 (82.5)	34 (58.2)	78 (88.6)
丁寧体+ ケレド類	3 (4.2)	-	3 (3.1)	2 (3.7)	-
丁寧体+ ケド	35 (48.0)	-	14 (14.4)	16 (29.1)	7 (8.0)
普通体+ ケレドモ	-	3 (4.2)	-	-	-
普通体+ ケド	15 (20.5)	67 (93.0)	-	2 (3.7)	-

*1 「普通体+ノニ/ガ/ケレド類」は現れなかった。ケレド類には、ケドモが含まれる。

- (1) 接続詞は「ダケド」がすべての場面で多く出現している。一方、「ケレドモ」は最も改まった場面で現れ、しかも丁寧体を伴っている。
- (2) 接続助詞について見ると、「ケレドモ」は親疎ともに主に丁寧体に接続し、改まりの場面で多く現れている。一方、「ケド」は改まった場面では丁寧体に接続するが、くだけた場面では普通体に接続している。

2.5.2. 解釈

- (a) 接続詞の「ダケド」は全ての場面で見られる。よって「ダケド」はスタイルの違いによって使い分けられる対象ではないと思われる。しかし、「ケレドモ」に関しては、最も改まった場面で、しかも丁寧体を伴うことからスタイル切換えの項目として認知されていると考えられる。この「ケレドモ」は、場面間のスタイル切換えであると同時に、文体間のスタイル切換えでもある。

- (b) 接続助詞についても、「ケレドモ」と「ケド」がスタイル切換えに関わっている。接続詞と同様に、改まった人には「ケレドモ」、くだけた人には「ケド」と使い分ける場面別のスタイル切換えであると同時に、「ケレドモ」は丁寧体に接続し、「ケド」は普通体に接続するといった文体によるスタイル切換えでもある。

2.6. 丁寧形式

2.6.1. 結果

[表 10^{*1,2}]

		対 NNS 親	対 NS 親	対 NNS 疎	対 NS 疎	対 NS 教師
デス	文末	185	24	219	187	237
デス	中途終了	9	-	12	9	8
デス	節末	49	3	92	40	86
デス	疑問形	50	-	22	11	21
その他のデス類		10	12	1	8	1
マス類		23	10	55	56	59
クダサイ／ナサイ		1	4	2	5	2
普通体	体言止め	121	153	66	68	49
普通体	用言止め	23	141	15	11	11
普通体	中途終了	27	68	32	29	36
普通体	独り言	14	36	27	22	20
普通体	聞き返し	9	8	2	6	4
普通体	その他	32	13	35	20	23

*1 相づち「ソウデスカ・ソウデスネ」は、丁寧体に含まれていない。

*2 「デショ?」は、すべて疑問形であり、推量形式は現れない。表では、「デス 疑問形」に統合した。また、「ダロ?・ヤロ?」が用いられないことから、「デショ?」が固定的な表現として使われていると考えられる。

- (1) 丁寧体と普通体の切換えは、スタイル切換えの対象として、インフォーマントが最も意識しているものである。スタイル切換えは、主に「マス類」・「デス類」と普通体の「体言止め・用言止め・中途終了発話」の形で行われる。

2.6.2. 解釈

- (a) 「マス体」はスタイル切換えとして働いているが、「デス体」に比べ、その出現が少ない。これには、「マス体」が「デス体」に比べて形態的に複雑な処理を要する点、「ノ(ン)ダ」形式を多用する点の2点が指摘できる。

「マス体」は「ありがとうございます」、「すみません」、「はじめまして」などのように挨拶や決まり文句的な使用がほとんどである。このような挨拶や決まり文句は、すでに固定表現となっていて純粋な敬語とは考えにくいものである。固定表現以外の生産的敬語としての「マス体」は「デス体」に比べて、形態的に複雑な処理をしなければならない。「ありませんでした」と「なかったんです」を比べると、「ありませんでした」は、「ない→(ある→)あります→ありません→ありませんでした」の4段

階か5段階の変化をするのに対して、「なかったんです」は、「ない→なかった→なかったんです」と3段階で済む。このような言語内的制約条件が「マス体」より「デス体」を選択させる要因となると思われ、さらに「ノ(ン)ダ」形式を多用することに繋がると思われる。

参考までに文末の「ノ(ン)ダ形式」の現れ方を表11に示す。

〔表11 ノ(ン)ダ形式^{*1)}〕

	対 NNS 親	対 NS 親	対 NNS 疎	対 NS 疎	対 NS 教師
デスの全発話数	293	27	345	247	352
デス	58 (19.8)	11 (40.7)	74 (21.4)	63 (25.5)	78 (22.2)
ンデス	235 (80.2)	16 (59.3)	271 (78.6)	184 (74.5)	274 (77.8)

*1 相づちと分類した「ソウデスネ・ソウデスカ」は除いた。「～ンデス」には、「～ナンデス」形式も多く見られ、「形容詞ナンデス」の誤用も見られるほどである。

- (b) 最も注目すべき点は、対 NS 親における丁寧体と普通体の使い分けである。KA は、「ため口とは敬語を使わない基本形のことだ」と説明しており、KA の意識として敬語は、「デス・マス体」であることが分かる。データ収集 5 分経過時点で、KA の基本待遇レベルが普通体に決まったが、その後 18 回の丁寧形式の使用が見られ、いずれも発話ミスであると内省している。18 回の丁寧形式の使用から、KA にとって丁寧体が unmarked であることがわかるが、意識的に普通体を使おうとした結果、次のような発話が見れたものであろう。談話例〔5〕では「ノ(ン)デス」を「ノ(ン)ダ」に機械的に変換しているようだが、この要因は、同等以下目下に対しては、丁寧体を使うことが許されない韓国語の規範が転移されたものと考えられる。

〔5〕

→912KA: そのとき [その時] 専門学校 卒業して 日本に 編入しよう と思った。(JC: うーん) 思ったんだけど、経済が 悪いから、(JC: うん) あの 父に 話すのは できなかったのだ。(JC: うん うんうん) あの 日本 の に 行ったら お金が たくさん かかるから、

913JC: そうですね。

〔対 NS 親〕

- (c) 最後に、対 NNS 親のスタイル切換えに注目したい。対 NNS 親では、丁寧体も多いが、普通体も他の談話に比べて多く出現している（対 NS 親を除く）。これには、NC が 2 歳年上であり、その点に配慮したこと（§ 1.1.*1 を参照）、日本語の話しことばに慣れてきて、待遇レベル・シフトが行なえるようになったことの 2 点が考えられる。

2.7. 終助詞および間投助詞

2.7.1. 結果

〔表 12 終助詞〕

		対 NNS 親	対 NS 親	対 NNS 疎	対 NS 疎	対 NS 教師
デス	φ	37	6	31	22	50
	ヨ	97	8	106	74	146
	ヨネ	47	9	75	84	38
	ネ	4	1	7	7	3
マス	φ	5	5	28	28	35
	ヨ	1	-	4	3	3
	ヨネ	-	-	-	2	1
	ネ	1	-	-	1	-
普通体	φ	20	115	12	9	11
	ヨ	-	25	-	1	-
	カナ	14	36	27	22	20
	ナ	2	-	1	-	-

〔表 13 間投助詞^{*1)}〕

	対 NNS 親	対 NS 親	対 NNS 疎	対 NS 疎	対 NS 教師
ネ	3	1	1	2	1

*1 丁寧体の中に、相づち「ソウデスネ」は含まれていない。

- (1) 丁寧体の中で、「デス体」には「ヨ」「ヨネ」が接続するが、「マス体」には終助詞の付かない裸の形式が多い。一方、普通体には終助詞が付かないことが多く、独白の「カナ」が多い。終助詞に関しては、「丁寧体・普通体」といった文体によるスタイル切換えが見られる。
- (2) 一方、間投助詞は「ネ」に偏っているが、出現数が極端に少ない。間投助詞はスタイル切換えの対象となっていない。

2.7.2. 解釈

- (a) 終助詞に関して、「デス体」は「ヨ・ヨネ」が共起しやすく、「マス体」及び「普通体」は裸の形式（終助詞なし）が多い。「マス体」が挨拶や決まり文句的な固定表現が多いこと（§2.6.2.(a)参照）を考え、考察から除外すると、丁寧体には終助詞が現れやすく、普通体には終助詞が現れにくくなっているといった文体によるスタイル切換えと考えられる。

終助詞と間投助詞はモダリティ形式であり、丁寧さとも関わる形式であるため、日常会話では欠かせない存在である。丁寧体には終助詞が多く現れ、普通体には終助詞が現れないことは、§2.6.2.(b)で指摘したように、KA にとって丁寧体が unmarked な点に関係すると考えられる。つまり、unmarked な丁寧体を運用することは普通体を用いることより容易なことであり、その分終助詞を使えるような余裕が出てくるの

ではないだろうか。そのため、慣れない普通体では終助詞が出て来にくくなっていると考えられる。

- (b) 対 NS 親を除いて、普通体では「ヨ・ヨネ・ネ」が皆無である。このことは、改まった相手に対する普通体は非常に消極的なものであり、ある種の独白か敬語回避に近いものである可能性が高いことを意味するものであろう。さらには、話し相手が発話を完成してくれているためであると考えられる。

2.8. 応答的表現

2.8.1. 結果

[表 14^{*1*2}]

	対 NNS 親	対 NS 親	対 NNS 疎	対 NS 疎	対 NS 教師
ハイ 1 回キリ	62 (87.3)	1	133 (65.4)	120 (56.6)	87 (75.7)
ハイ 2 回以上	9 (12.7)	2	71 (34.8)	92 (43.4)	28 (24.3)
エエ 1 回キリ	2	2	1	1	-
ウン 1 回キリ	65	207 (90.4)	26	24	8
ウン 2 回以上	1	22 (9.6)	-	1	-
ソウデスカ	17	1	41	10	24
ソウデスネ	3	2	17	8	3
ソウ	2	9	8	5	1

*1 応答的表現には、相づち的なものと応答詞の両方が含まれる。％は主なものについて回数別に集計した。

*2 「ソウデスカ」は短く発音され、納得の意味では使われない。対 NNS 疎の「ソウデスネ」には、「ソウデスヨネ」の 2 例を含む。

- (1) 応答的表現の「ハイ」は改まった相手により多く、「ウン」はくだけた相手により多く用いられる。「ハイ」対「ウン」は場面によるスタイル切換えが行われている。また、応答的表現の回数に関しても、スタイル切替えの対象となっていると思われる。
- (2) ソ系の応答的表現では、「ソウ」と「ソウデスカ」の間でスタイル切換えが見られる。

2.8.2. 解釈

- (a) 応答的表現は、「ハイ」対「エエ」・「ウン」でスタイル切替えが見られる。「ハイ」は、改まった相手や目上と意識する対 NNS 親 (§ 1.1.*1 を参照) に使われる。「エエ」は、数は少ないが、改まった相手には使いにくく、「ハイ」と対立的なスタイルとして捉えられていると思われる。「ウン」は、親しい相手や改まった相手でも話しやすい人 (対 NNS 疎・対 NS 疎: § 1.1.*2 を参照) にも現れる。このことから、KA の意識の中では、「ハイ」対「エエ」・「ウン」の構図が親疎関係および上下関係という二つの軸で捉えられていると考えられる。
- (b) 「1 回キリ」・「2 回以上」といった応答的表現の回数は、以下の点でスタイル切換えに関与していると考えられる。つまり、「ハイ・2 回以上」は、改まった相手により多く見られ (％を参考)、「ハイ」を 2 回以上用いることで、よりフォーマルなスタイル

ルを指向し、丁寧さを表すものと考えられる。一方、「ウン・2回以上」は、親しい目下（対 NS 親）に特徴的に多く、改まった相手には用いられない。ということは、「ウン・2回以上」はぞんざい過ぎるために、改まった相手には回避されたと考えられる。

また、「ハイ・2回以上」の出現率と「ウン・2回以上」のその差に注目すると、「ハイ・2回以上」は丁寧さを表すものであるために、使える相手には多く使ってもいいが、「ウン・2回以上」はぞんざい過ぎるといったマイナスイメージがあるため、その使用が制限されると考えられる。

- (c) ソ系の応答的表現については、「ソウデスカ」・「ソウデスネ」対「ソウ」の対立が認められ、この対立は丁寧形式・普通形式のスタイル切替え (§ 2.6.参照) に準ずるものと考えられる。

2.9. 言い淀み形式

2.9.1. 結果

[表 15^{*1}]

	対 NNS 親	対 NS 親	対 NNS 疎	対 NS 疎	対 NS 教師
エート	8	1	1	4	15
アノ	69	171	177	139	121
ソノ	7	6	-	6	6
マ (一)	104	188	176	171	84

*1 単語末母音の長音化などの非語彙的形式は対象としていない

- (1) 「エート」は目上と意識する対 NNS 親や最も改まる対 NS 教師で多く、「アノ」・「マ (一)」は話しやすい人に多く現れている。使用回数という点で、緩やかではあるが、スタイル切替えに関与している。

2.9.2. 解釈

- (a) 「エート」と「アノ」・「ソノ」は内容演算、形式検索という基本的な用法を持ち、相手へのさまざまな配慮を演出することもでき、そうすることで丁寧さが感じられる形式でもあるといった語用論的機能を果たしている。表 15 の諸形式を同一線上において比較することはできないが、各々の形式の使用回数という点からすると、スタイル切替えに関与していると思われる。
- (b) 「エート」は、内容演算の心的操作のモニター標識と位置づけられるものである。目上や最も改まる相手に対して、自分の発話の内容や言語形式をより正確なものに組み立てていく途中で現れたと考えることができる。反対に、気楽に話せるような相手に対しては、少々間違いがあっても、それほど気にならないかも知れない。
- (c) 「アノ」は、形式検索の際に用いられ、いわば場つなぎ的なものである。またこの標

識を自分へのモニターとして使用するだけでなく、相手に対して「有意義な発話にはもうしばらくかかるのでそれまで待機してくれ」という指示として利用することもある。「アノ」の用例数が非常に多いことは、発話の途中に形式検索をしきりに行っていることを物語っている。しかし、目上と意識する対 NNS 親や最も改まる対 NS 教師に対して、相手に働きかけることを避け、なお間を置かず歯切れ良く発話することが相手に対する礼儀であり、丁寧さに繋がると KA が意識した場合に、「アノ」の頻度が下がることもあるだろうと考えられる。

そして、目下や気楽に話せるような相手には、遠慮せず新しい形式を検索することもできるだろう。実際、KA は来日して日が浅く（2001 年 4 月来日）、話し相手はほとんど韓国語が話せる人だったので、このデータ収集のための会話が非常に日本語の勉強に役立っていると内省しており、理解語彙を口に出して使ってみることを心がけていると報告している。このような過程を経て、「アノ」の出現数が増えてきたのであろう。

- (d) 「マ (一)」は相手のもたらした情報や話し手自身が提示した情報に対し、何らかの評価を下そうとしている途中であることを示す。評価を下すという行為であるため、目上や教師に対してはより敬遠され、話しやすい人に相対的に多く現れる形式のようである。一連の談話では、KA が新情報を次々と提供し、説明することが多い。そうする中で、KA 自身が提示した情報に対し、評価を下したり、補足するために、「マ (一)」が多く用いられたと考えられる。

[6]

→750KA: わだしのっ [私の] あの 高校の どもだちが [友達] ジェンプ [全部] eo 先の
inteonett kape ↑ [インターネット カフェ] (JC: はい) 集まって、十人ぐらいかな。[笑] 一緒
ずっと するから、(JC: ああー) まー 夜 遅くまでする人 朝までする 人も いるし…。
751JC: うえー ずっと 座って いるんですか?。 [対 NS 親]

2.10. 助詞の脱落

2.10.1. 結果

[表 16 格助詞ヲ^{*1}]

	対 NNS 親	対 NS 親	対 NNS 疎	対 NS 疎	対 NS 教師
ヲ	15 (27.8)	16 (20.0)	24 (85.7)	32 (38.1)	46 (43.0)
φ	39 (72.2)	64 (80.0)	4 (14.3)	52 (61.9)	61 (57.0)

[表 17 助詞ノ^{*2}]

	対 NNS 親	対 NS 親	対 NNS 疎	対 NS 疎	対 NS 教師
ノ	173 (87.4)	183 (79.9)	243 (93.1)	218 (89.3)	184 (79.7)
φ	25 (12.6)	46 (20.1)	18 (6.9)	26 (10.7)	47 (20.3)

*1 ヲ格の脱落の場合に、前接形式の発音が[o]で終わるものについては、[o]がはっきり聞き取れなくても、「日本語ー勉強スル」のように、長音化しているものは、「ヲ脱落」から除外したが、単音で発音され

る場合は、「ヲ脱落」と認めた。しかし、「旅行 ϕ スル」「内容 ϕ 述ベル」など、前接形式が長音の場合はカウントから除外した。さらに、「努力スル」／「努力ヲスル」のように、「漢語＋スル」の場合は、「ヲ脱落」と認めないが、「努力 ϕ アノ シタノガ…」などのように、他の言語項目に遮られた場合はカウントした。なお、「水ガ／ヲ 飲ミタイ」のように、ガ格／ヲ格の両方に解釈できるものは対象としていない

*2 助詞「ノ」は、「名詞ノ名詞」の環境に現れるものに限定した。次のような例である。

[7]

→1352KA: 小学校の どもだちを [友だちに] 会ったんですよ。(JT: うんうんうん) ま 最初には 十二年ぶりだから、(JT: うん) ちょっと ごども ときに [子どもの時に] 会って、(JT: うんうん) ちょっと おどなに [大人に] なって 会ったので、(JT: うんうん) 何か 何か あの ちょっと 不便ですよ [気まずいですよね]。、雰囲気、。 [対 NS 教師]

- (1) 格助詞「ヲ」は親の相手によく脱落し、疎の相手には脱落率が低い。格助詞「ヲ」の脱落と非脱落に、スタイル切り換えが見られる。
- (2) 助詞「ノ」の脱落に関しては、最大 20%以上の脱落率を見せている。しかし、場面や話し相手による差は見られない。

2.10.2. 解釈

- (a) 「ヲ」格については、カジュアルな場面ではよく脱落するが、フォーマルな場面ではあまり脱落しないといった場面間でのスタイル切り換えを行っている。フォーマルな場面でより丁寧に発話しようと努めた結果、「ヲ」格を脱落しないのであろう。
- (b) 助詞「ノ」の脱落は、最大で 20%以上の脱落率を見せている。しかし、場面や話し相手による差は見られず、スタイル切り換の項目ではないことがわかる。さらに、「形容詞ノ名詞」などのような助詞「ノ」の汎用が見られないことから (5つの場面で全 12 例)、日本語学習者に一般に見られる現象ではなく、韓国語母語話者に特徴的なものであり、韓国語からの干渉が考えられる。

2.11. 縮約・融合形

2.11.1. 結果

[表 18^{*1}]

	対 NNS 親	対 NS 親	対 NNS 疎	対 NS 疎	対 NS 教師
テイル	34 (66.7)	42 (79.2)	47 (87.0)	24 (70.6)	36 (81.8)
テル	17 (33.3)	11 (20.8)	7 (13.0)	10 (29.4)	8 (18.2)
テイナイ	4 (50.0)	3 (25.0)	10 (100)	-	6 (66.7)
テナイ	4 (50.0)	9 (75.0)	-	1	3 (33.3)
デハナイ	-	-	-	-	-
ジャナイ	21	22	17	21	21
ナケレバ(ナラナイ)	2(2)	-	4(3)	2	2(1)
ナキャ(ナラナイ)	2(4)	1(1)	6(4)	2(2)	10(6)

*1 「ナクテハ(イケナイ)」／「ナクチャ(イケナイ)」の対立は、現れなかった。「テイタ／テイク／テイマス」は数が少なく、ほとんど縮約しないために表では省略した。

- (1) 縮約・融合形は、全体的にスタイル切換えの対象ではないと思われるが、「テイル／テル」・「テイナイ／テナイ」に関してはスタイル切換えの項目なのかもしれない。
- (2) また、項目ごとに縮約・融合形が優勢なものとそうでないものがある。

2.11.2. 解釈

- (a) 縮約・融合形は、項目ごとに偏っている。概して肯定形は縮約・融合しない傾向があり、否定形は縮約・融合する傾向がある。これらの形式については、個別的に習得したと考えられるが、詳細は不明である。その中で、「テイナイ／テナイ」・「テイル／テル」の2形式はくだけた場面ではより縮約し、改まった場面ではより縮約しない傾向が見られ、スタイル切換えが認められる。この2形式は用例数も他の形式より比較的に多く、日常的に頻繁に使うと予想されるものである。従って縮約形にも速い段階から気づきやすく、スタイルの違いとしても認知しやすい形式なのかもしれない。

2.12. その他の形式

ここでは、スタイル切換えの対象となっていない項目についてまとめる。

- (1) 素材敬語について。(a)「ごめんなさい」「お休みなさい」などの尊敬語と「お願いします」「李と申します」などの謙譲語が見られるが、挨拶などの定型表現に限定されている。尊敬語、謙譲語は使えないようである。(b)「接頭辞オ／ゴ」には、お金・ご飯などの限られた語彙にのみ見られ、語彙化されていると考えられる。
- (2) 程度副詞について。場面や話し相手に関わらず「ちょっと」のワンパターンである。
- (3) 強調表現について。基本的に、強調表現を用いないが、対NNS親で、「メッチャ」の使用が目立つ。くだけた話しことばを身につけつつあると思われる。

3. まとめ

(1) スタイル切換えの様相

まず、スタイル切換えが行われる項目と行われない項目があった。スタイル切換えが行われる場合は、基本的に場面の改まりや話し相手との上下関係によって切換えられているが、いくつかの項目は文体（丁寧体／普通体）と連動して切換えが行われるものもあった。さらに、カテゴリーカルなスタイル切換えと連続的なスタイル切換えの両方が見られた。

- (1-1) 場面や上下関係によるスタイル切換えが見られる項目には、§2.2.対称詞／§2.4.原因・理由の接続詞、接続助詞／§2.5.逆接の接続詞、接続助詞／§2.6.丁寧形式／§2.8.応答的表現／§2.9.言い淀み形式／§2.10.助詞の脱落、非脱落／§2.11.縮約・融合形などがある。これらは、場面や相手に対する丁寧さを示したり、使用形式への注意度の高さによるなど、言語外的な制約が働いているものである。

- (1-2) 文体 (§ 2.6.丁寧形式) と連動したスタイル切換えの項目には、§ 2.4.原因・理由の接続詞、接続助詞／§ 2.5.逆接の接続詞、接続助詞／§ 2.7.終助詞などがある。特に § 2.7.終助詞に関しては、KA にとって丁寧体が unmarked な形式である点が関与していると思われ、言語内的な制約条件によるものと考えられる。
- (1-3) スタイル切換えが行われる項目の中で、カテゴリーカルな切換えが見られる項目には、§ 2.2.対称詞／§ 2.6.丁寧形式／§ 2.8.応答的表現／§ 2.7.終助詞などがある。これらの項目は、モダリティー形式など、聞き手目あて性の高いものである。一方、連続的なスタイル切換えが見られる項目には、文法形式が多い。この結果は、聞き手目あて性の高い項目ほどスタイル切換えが早い段階から意識されることを意味するものである。
- (1-4) § 2.1.自称詞／§ 2.3.親族名称のように、形式間のスタイルの違いは意識しているが、発話時における言いやすさを優先する項目もある。これらの項目は、現時点ではスタイル切換えの項目ではないが、近い将来場面間のスタイル切替の項目になる可能性が高いと予測されるものであった。
- (1-5) スタイル切換えが見られない項目には、§ 2.12.素材敬語／程度副詞／強調表現などがあつたが、定型的な表現やある表現を固定的に使用していた。

(2) スタイル切換えの習得

- (2-1) 学習者のスタイル切換え能力は文法能力と切り離して論じられない。スタイル切換え習得と文法習得が同時進行しているような項目がある。ノ(ン)ダ形式の多用は文法能力によるものであるが (§ 2.6.2.(a))、そこから「デス体」が多く用いられるようになるなど、文法的知識がスタイル切換えに影響している様子がうかがえた。
- (2-2) § 2.1.自称詞／§ 2.4.原因・理由の接続詞／§ 2.5.逆接の接続詞／§ 2.11.縮約、融合形などの項目は、ある特定の形式を専用するが、徐々に他形式とのスタイルの違いを認識していくことを窺わせるものである。ここから、スタイル切換えの習得は、複数変異の同時習得ではなく、特定形式の汎用から他の形式へのスタイルの違いを認識しつつ習得していくことが予想される。従って、固定的な使用が見られた項目(素材敬語／程度副詞／強調表現)なども、今後スタイル切換えの項目となっていくであろうと考えられる。

4. 展望

- (a) スタイル切換えを行っている項目の中で、§ 2.6.丁寧形式、§ 2.5.逆接の接続詞などは、母語の体系及び規範と密接な関わりを見せている。母語である韓国語からの社会言語学的転移であると思われるものであるが、KA の韓国語におけるスタイル切換えを調べ、対照研究を行うことで立証できると考えられる。

- (b) 対 NNS 親の談話とその他の談話とで、スタイル切換えには文法習得の問題が関わってくる様子が窺われた。日本語の習得が進むにつれて、スタイル切換えがどのように変化するのだろうか。また、本研究ではカジュアルな場面でも生活語としての地域語（大阪方言）の出現は皆無に近かった。今後カジュアルな場面での地域語がどのように現れるのか、興味深いテーマである。
- (c) 今回の調査では、終助詞ネや間投助詞ネの使用が少なく、副詞や強調表現に乏しい様子が窺われた。情報伝達の側面に問題があるわけではないが、会話を楽しみ、より円滑なコミュニケーションを行う上で、力動感あふれる談話を構成して行くために、今後これらの項目がどのような様子を見せるのだろうか、この点にも注目して行きたい。

【参考文献】

- 杉藤美代子（1999）「東京と大阪の談話におけるあいづちの種類とその運用」『日本語科学』5
国立国語研究所
- 田窪行則・金水 敏（1997）「応答詞・感動詞の談話的機能」音声文法研究会編『文法と音声』
くろしお出版
- 堀 素子（2000）「社会の変化と言語の変化」大学英語教育学会中部支部待遇表現研究会編
『現代若者ことばの潮流－距離をおかない若者たち－』
- 三牧陽子（2001）『対話における待遇レベル管理の実証的研究』平成9年度～平成12年度 科学
研究費補助金 基盤研究(C)(2) 研究成果報告集

い きりょん（大阪大学大学院生）

kolee@anet.ne.jp

【対 NNS 親】

収録日時：2001 年 7 月 7 日

収録場所：文化会館の休憩所

話題：日本での生活 → 韓国での生活 → 誕生日 → 異性 → アルバイト → 自国の文化 → IT 産業 → 変な人に会った経験

1286KA：今 inteo ネットで [インターネットで] ども
だち [友達] メールとか 送るんですか？。

1287NC：あ インターネット よく するんですよ。

1288KA：うん。も ネパルも [ネパールも] 今 pum
[プーム] ですか？。inteo ネット [インターネ
ット]。

1289NC：ま bum ですね。

1290KA：あ そうですか？。

1291NC：世界中じゃないですか？。今 IT-ていえば、

1292KA：ま そうですよ。

1293NC：うん。どんな 国でも すこし。

1294KA：inteo ネット 早いんですか？。ネパルも。

1295NC：あんまり 早くないです。

1296KA：日本より？。

1297NC：日本よりも 遅いです。(KA：へえー) 韓国は
早いんですね、日本より。

1298KA：韓国人 ここに [ここで] 感じるのは めっ
ちゃ 遅い。めっちゃ 遅い。

1299NC：あー でも 日本でも もう すぐ あの 光
ファイバーの ケイブルが

1300KA：チェンブ [全部] ?。

1301NC：うん。全部。

1302KA：cheinji [チェーンジ]。

1303NC：交換するみたいなんで、

1304KA：交換。これ 聞いたの 二千五年ぐらい。
{笑} 二千五年ぐらいは。

1305NC：え もう すぐ あの ○○大学で その 工
事も は 始まってるよ。

1306KA：そうですか？。今 売っている ADSL という
もの あるんですよ。(NC：うんうん) 二十
四倍。(NC：おおー) これも 遅いなんですよ [遅いんですよ]。、みんな 韓国人の 場合は
{笑}。

1307NC：あー そうですか？。おおー 韓国は 早いね、
さすが。

1308KA：modem あの ISDN の 二十四倍と 書いて
いるん 言うんですけど、韓国は 百倍ぐらい

かな、今。(NC：おおー) だから めっちゃ
遅いですよ。

1309NC：あー すごいですね。

1310KA：ま 五百メガバイト↑ (NC：うふん) 知って
るんですよ。(NC：ふん) 一ギガ 半分ぐら
い↑。(NC：うふん) その ケイムを [ゲーム
を] daunrod [ダウンロード] りょう 七秒に
かかるんですよ。

1311NC：向こう？。

1312KA：韓国は (NC：韓国で) 七秒 (NC：七秒で) ta
taunrod [ダウンロード] できます。

1313NC：もう 早い。

1314KA：そのぐらい はや 早さなんですよ。

1315NC：早い。

1316KA：これが い この あの あの その ADSL
一の 名前なんですけれども、これ 種類が
何個 あるんですけれども、(NC：うふん) こ
の中で ちょっと いいもの↑ 一ヶ月で
四千円ぐらい 払うもの 五千ぐらいかな。は
ら 払うものなんですけど、これは {笑} 七秒
で daunrod [ダウンロード] できます。(NC：
へえ) そんなに 早さが あるから、そのもの
使ってる 人が こに いたら、

1317NC：来たら ふふん ま ちえんぜん [全然] 遅
い。

1318KA：はい。も 普通のものでも (NC：うん) 五百
メガバイトのものを taunrod する [ダウンロー
ドする] ときには [時には] 三十分ぐらい↑。
(NC：うふん) ちょっと わだしの [私の]
もの ちょっと 遅いものだったんですけれど
も、こう 普通のもの↑ これぐらい かかっ
たんですよ。{笑}

1319NC：遅いですね。

1320KA：韓国は 五分。

1321NC：比べたら 七秒と 三十分は あまり くら
べ…。{笑}

1322KA：あ わだし [私] わだしの [私の] 家は 三
十分 わだしが [私が] 使っているもの 韓国
韓国で oback [五百] 三十分ぐらい かかっ
たんですよ。(NC：うふん) だけど ここに [こ
こで] 五百メガバイト taunrod したら 何分
ぐらい かかるか。

1323NC：ははは {笑} もっと 遅い。

1324KA：はい。{沈黙 8 秒} 同じ ケイム [ゲーム]
わだしが [私が] かっこうで [学校で] 韓国の

〔対 NS 親〕

収録日時: 2001 年 5 月 13 日
 収録場所: KA の友人の事務室の会議室
 話題: 自己 (家族) 紹介 → 日本語の勉強 → インター
 ネット カフェ → 日韓の現代文化 → 日韓関係
 → 家族 → お酒

- 628KA: 韓国 あの pisibang ↑ という あの
 629JC: あ ありますよね。
 630KA: pisibag というのは あの inteon ネット kape [イン
 ターネット カフェ]
 631JC: はい。// こっちで うん
 632KA: うん。// inteonett カンペ [インターネット カ
 フェ] という 場所も えー その 場所
 はに 韓国 えに 日本橋で [日本橋に] ある
 知ってる?。
 633JC: pisibang ですか?。
 634KA: うん。
 635JC: あるんですか?。
 636KA: ふん。
 637JC: えー 知らないっす。インターネット カフェ ↑。
 638KA: 韓国。ここ [そこ] 入ったら 韓国。
 639JC: あ そうなんですか?。
 640KA: うん。
 641JC: // 知らない。
 642KA: // チェンジェン [全然] 韓国。ジェンブ [全部]
 韓国人。(JC: うそー) ほんま。
 643JC: ほんまですか?。
 644KA: うん。
 645JC: へー そんな ところ 知らないですね。
 646KA: 本当 do 本当。
 647JC: 日本橋に あるんですか?。
 648KA: えー 南。
 649JC: 南に あるんですか?。
 650KA: 難波の 南。
 651JC: 難波の 難波の 南。
 652KA: 南とか 日本橋駅の 上も [上にも] ひど
 [一つ] ある。
 653JC: へー 全然 知らないっす。
 654KA: この 場所は—
 655JC: え じゃ pisibang って // 書いてあるんですか?。
 656KA: // うん。pisibang—て。{息を吸う} 名前が ち
 よっと 違うんだけど、(JC: うん) 韓国人 呼
 ぶのは [言うのは] pisibang って // 呼ぶのが *。
 657JC: // うーん 全然 知らないっす。
 658KA: 知らない ↓。あの 韓国で 行ったごと [こと]
 ある?。
 659JC: pisibang?。
 660KA: うん。
 661JC: ありますよ。
 662KA: ここは 同じだよ。
 663JC: 全く
 664KA: うん。(JC: へー) に 南の 方は—
 665JC: え 韓国語も 通じるんですか?。
 666KA: うん。(JC: あらら) チェンブ [全部] 韓国
 の あの一
 667JC: お客さん // ばかりやし
 668KA: // kibod kibodo。
 669JC: あっ キーボードも 韓国語の?。
 670KA: うん。日本橋の方は あの 日本の kibodo
 も [キーボードも] あるし、(JC: はい) 韓国語
 〈の〉 kibodo が [キーボードが] あるんだけど、
 南の 方は チェンブ [全部] 韓国人だから…。
 671JC: あー 南//が そうなんや。
 672KA: // 日本の kibod [キーボード] 必要じゃないか
 ら…。
 673JC: ああー そうなんや。
 674KA: ** 五時までは 二百円。(JC: うおーん)
 安いでしょ?。
 675JC: {ビールを飲む} ま かん//こく 並ですね。
 676KA: // 安いよ。うん 五時までには 最初に 日本
 橋の方は 四百円。
 677JC: // ああー 高い とこは。
 678KA: // 学割に— 学割りして 四百円。(JC: あおー)
 普通の 一般の 人は— 五百円。
 679JC: {すっと息を吸う} おおー 高いな。
 680KA: うん。はって だけど あの どもだち [友達]
 あの 他の クラスの どもだちが [友達が]
 教えて 二百円。(JC: おおー) 普通は 三百円。
 681JC: うんー あ 学割で 二百円すか?。
 682KA: うん。
 683JC: ええー そんな あるんや おおー
 684KA: うん。
 685JC: // 安いですね。
 686KA: // 早い [早さ]は ちょっ 韓国っ ちょっ
 遅いけど、
 687JC: ああー 韓国は
 688KA: がっけど [だけど] ここの // 普通の 使って

〔対 NNS 疎〕

収録日時: 2001 年 5 月 15 日

収録場所: 大学構内

話題: 日本語の勉強 → 韓国の生活及び文化 → 日本の音楽 → ブラジルの文化 → IT 産業 → 歴史問題 → 同窓会

1252KA: 韓国では inteo ネットが 速いから、(BF: はい) 日本より めっちゃ 速いんですよ。

1253BF: あっ 本当?。

1254KA: はい。(BF: へえー) 韓国では ID の [IT の] 産業は (BF: はい) 日本より もっと 速い。

1255BF: へえー 良いね。

1256KA: はい。

1257BF: うんー

1258KA: 今 inteo ネット bum なんですよ、韓国は。

1259BF: じゃ ずっと 三時まで インターネット やってた?。

1260KA: はい はい。ま ここは あの modem ですよ。(BF: はい) 韓国で modem は 何年前かな。三年前かな。四年前だけです。(笑)

1261BF: なくなっただけですか?。

1262KA: はい。なく つかっ、

1263BF: モデム。

1264KA: 遅いから 使っていないんですよ。

1265BF: ほおー じゃ 今 何を どういうふうに つながって

1266KA: あのー 線が いる [ある] んですよ、あの ケイルブ線で。

1267BF: あっ あれ あれで

1268KA: あの ADSL というものだが [ものたちが] IDSN も あるんですよ、ここは。(BF: はい) IDSN の 次のものなんですよ。だから もっと 速い。

1269BF: 今 もう 日本でも 入ってきてるんですよ、その ケーブル インターネット、

1270KA: *けどー [だけど] 少ないんですよ。

1271BF: 少ない。

1272KA: だけど 韓国では 今 せんごくてき [全国的] に 使っているから…。(笑)

1273BF: へえ すごい

1274KA: inteo ネット kape は この辺は 少ないんですよ。(BF: はい) 難波とか 行かなきゃ できないんですけども、(BF: はい) 韓国は

田舎でも あります。(笑)

1275BF: うわー すごい。

1276KA: それが。(BF: ほおー) 一時間で 千円かな。千 千ウォンだから 百円ぐらい。

1277BF: あっ 安い。

1278KA: はい。安い。

1279BF: すごく 安い。

1280KA: うん。一時間で ここで [そこで] 国際電話も できますよ。(BF: そうそうそう) inteo ネットで。

1281BF: ね↑

1282KA: アメリカまで。

1283BF: うんー それも ただですよ。

1284KA: はい はい。

1285BF: ダイアル バードだったっけ?。

1286KA: あ はい はい はい。韓国の 会社。

1287BF: そう この間 友達が 教えてくれたんだけど、

1288KA: はい はい。ここから 韓国にも 電話しても 韓国も 会社なんですから、国際電話じゃ なくて 国内電話に なるんですよ。

1289BF: うんー いいね。

1290KA: はい。

1291BF: うんー すごい 僕も なんか その インターネット 使って 時々 あのー 弟とか↑

1292KA: はい。

1293BF: 話してるんだけど、もう すっごい 遅い。

1294KA: はい はい はい。

1295BF: 特に もう すごい 離れてるからね ブラジルと 日本は。だから もう こっちが しゃべって あの その 声が 向こうに 届くまで すごい 時間が かかるから 時々 こう すごい

1296KA: あ そうですね。

1297BF: 混ざって 聞こえるのね。

1298KA: はい はい はい。

1299BF: だから ど どっ あまり 聞こえない、ほんとうは。

1300KA: あー そうですね。

1301BF: 聞き難い。

1302KA: あの どもだちが [友だちが] あの 日本ー ani 韓国から 日本の 会社に せっそくして [接続して]、(BF: はい) 電話を わだしの [私の] あの 今 住んでる 家に 電話するんですよ。その 電話も そんなに するんですよ。(BF: はい) だけど わだしが [私が]

〔対 NS 疎〕

収録日時: 2001 年 5 月 14 日

収録場所: 大学構内

話題: ソウルのタクシー → 故郷の風景 → 飲酒文化
→ ゲーム → 日本語の勉強 (漢字) → 日韓の
文化交流 → 異性

- 985JF: 日本語は その ど どうだっ どうですか?
難しいですか、やっぱり、。
- 986KA: も 韓国語と 似ているから そんなに、
- 987JF: それほどではない。
- 988KA: 難しくないって思って 始まったんですが、
[始めたんですが] (JF: うんうんうん) 漢字が
多いから {笑} …。
- 989JF: 漢字が 多い。
- 990KA: はい。{笑}
- 991JF: そうね。え 日本人でも 漢字とか 難しい 時
は 難しいから…。
- 992KA: だけど 韓国の場合 わだし [私] の 場合は
まあ 全然 使っていないの [使っていなかった]
期間から 勉強したんですよね。雰囲気が 社
会で わだし [私] 小学生ぐらいも (JF: うん)
あの 新聞とかに 漢字が たくさん 出たん
ですよ。 (JF: うんうん) だけど わだし [私]
中学生ぐらいか なくなっちゃったんですよね。
ハングルだけ…。
- 993JF: ハングルになった。
- 994KA: も 人の 名前だったら、(JF: はい) 漢字が あ
の カングルで [ハングルが] あって、(JF: う
ん) と 下にな は あの 漢字の 名前が
書いていたし…。[書いてあったし]
- 995JF: あ こう 二つ 一緒に 書いてある、
- 996KA: はい。
- 997JF: わけだ。
- 998KA: はい。
- 999JF: うん うん うん
- 1000KA: 普通の あの 人の 名前では 漢字 使う
んですけども、(JF: うん) あの 名字が 同
じぐらい 同じとか、(JF: うん) ハングルでは
同じ 名字とか 名前も 全部 同じ人 多く
なる ことあるから…。
- 1001JF: あ 例えば えっと キムさんが **すると
それと 同じのが ついたりとか
- 1002KA: //あ そう そう そう そう。はい。イさん

とか //キムさんとか。

- 1003JF: //イさんとか うん うん うん はー そうか
そうだよ。というか 新聞が あの うん
見たことあるんだけど、殆ど カングル [ハ
ングル]で『何て 書いてあるんだ これ』{笑}。
- 1004KA: ふふふ {笑}
- 1005JF: ごめんね。あ 別に あの
- 1006KA: はい。
- 1007JF: そういうことじゃなくて あの 全然 勉強し
てないから…。
- 1008KA: あの わだし [私] の お父さんは どうし
の [年の] 人だちは [人たちは] 大体 漢字 勉
強した 人ですよ。
- 1009JF: あっ よ 読めるんだ。
- 1010KA: はい はい。日本語では 読めるのは 多分
出来ないと思うんですけども、
- 1011JF: うん うん 漢字は
- 1012KA: 会話は 出来なくても、(JF: うんうん) 漢字
で 意味 わかるんですよ。
- 1013JF: あ つまり つまり あの 漢字 紙に //こう
漢字 書いて こう //見せたら
- 1014KA: //はい はい はい。//見せたら『あ 分かっ
た』。
- 1015JF: あ なるほど なるほど
- 1016KA: はい はい はい。
- 1017JF: へえー じゃ ま えっ じゃ 日本語は
が こう 話をするのが 出来るというど
う お爺さんとか お婆さんぐらいに なっ
てしまうってことなのかな。あー
- 1018KA: そうかな。
- 1019JF: あ もう そうでもない?。うん ま 一応 漢
字は 書けると
- 1020KA: わだし [私] あの
- 1021JF: 漢字 や あの お父さん
- 1022KA: お父さん はい はい。漢字 (JF: ああ) た
くさん。そのとき [時] は
- 1023JF: あった
- 1024KA: まあ 多いですよ。わだし [私] の お父
さん あの 覚えてる 漢字は、
- 1025JF: うん うん うん うん
- 1026KA: その わだし [私] の お父さんは 四十年
に 生まれたので、
- 1027JF: 千九百
- 1028KA: はい。(JF: うんうんうん) だから そのとき
[時] も はん ハングルより 漢字を たく

〔対 NS 教師〕

収録日時：2001 年 5 月 25 日

収録場所：大学構内

話題：日本語学習（漢字）→ 日韓関係 → スポーツ →
韓国の文化・生活 → テレビ番組 → 同窓会 →
家族 → 大学生活

- 131JT：で 今 こちらでは 何を 勉強するん//…
132KA：//やー あの 中川に ある 中川専門学校と
いう…
133JT：あっ そこで まず 日本語…
134KA：はい。日本語を。まだ ノリョク [能力] 試験
一級 取らなかったで…。
135JT：あー そうか そうか 一級 取らないと…
136KA：ああー 聞き取りは ちょっと できるんです
けれども、(JT：うん) 作文とか 文法とか え
ーと 漢字とか、
137JT：あはははは {笑} あ そうか 漢字かー
138KA：はい。
139JT：漢字は 学校教育で あまり 習わないんです
よね。
140KA：韓国では 名前だけ。
141JT：名前だけ↓
142KA：おーん ID カド [カード] かな。ショメイシ
ョ [証明証]、(JT：うんうんうん) シュウミン
[住民] ショメ ショミン? [住民] ジュミン シ
ョウメイシヨ [住民証明証]、(JT：うんうん)
の 中には 漢字が 書いているんですよ [あ
るんですよ]。(JT：うん) これだけ。自分の 名
字だけ、(JT：うん) 漢字 使っているし、(JT：
うんうんうん) 新聞とか 別に 出てないんです。
143JT：ハングルばかりですよ。
144KA：はい。あの 昔の 経済本とか、(JT：うん)
前 経済 勉強したので、(JT：うん) そのドキ
は [その時は] 漢字ばかりなので、(JT：はは
はは {笑}) 『e igo [これ] どうしよう』とか
{笑}、(JT：おおー) したことも [ことも] あ
ります。
145JT：なんか 政策で そうするらしいですね。
146KA：はい。
147JT：昔は 漢字と ハングル混ざって…。
148KA：あの 何年前かな。二年前か↓。あの『漢字と
カングル [ハングル] を 一緒に 使いましょ
う』とか、(JT：うんうん) あの 話が 出たん

ですけれども、(JT：ええ) えーと ハングル学
者たちが [学者たちが]、わだしが [私が] 知っ
ているものは [ことは]、そのだちが [その人た
ちが] 『いい ハングルが あって 何 漢字
を 使う』 [いいハングルがあるのになぜ漢字
を使うのか] {笑} (JT：ああー) とか その 意
見が あったので…。(JT：うーん) えーと 大
統領の 力が {笑}、(JT：はははは {笑}) でき
なかったのか↓。(JT：ああー) はい。

- 149JT：日本語にも ひらがなが あるでしょう。
150KA：はい。
151JT：で 漢字も 使うじゃないですか？
152KA：はい。
153JT：やっぱ ひらがなだけだと ちょっと 読むの
が 遅くなるんですね。
154KA：あっ そうですね。
155JT：うん 漢字は 意味が あるでしょう？
156KA：韓国の 場合は、(JT：うん) 日本だったら 漢
字を 使ったら もっと 短くなるんですけれ
ども、韓国は 漢字 一つで ハングル 一つ
↓。(JT：うんうん) なので、(JT：うん) 別に
問題が ないんです。(JT：うん) ハングルの
見れば 意味 分かりますので {笑}。
157JT：あ そうか そうか
158KA：問題が ないから…。
159JT：は—— そりゃ ハングルだけなのが 合理的
かもしれないですね。
160KA：あ—— はい はい。
161JT：おお—— {お茶を飲む} 日本学科で 政治とか
歴史とか ならん
162KA：はい はい。
163JT：学んだとしたら、お聞きしたいんですけど、ね
↑日の丸とか 君が代↑に ついてのことも
だいぶ…。
164KA：勉強したんですけれども、(JT：うんうん) ま
そんなに その問題について、(JT：うーん) ま
考えたごと [こと] 別に ないんですよ。(JT：
うんうん) わだしの [私の] 場合は、(JT：う
んうん) いつも 聞く [聞かれる] 質問なんで
すけれども {笑}、(JT：うん) ま 日の丸 (の)
問題とかは 別に 日の丸 見れば、(JT：う
ん) いいより 悪いのかなー、(JT：うんうん)
方が あります。(JT：うん) 悪い点 悪いー
悪く 感じるのが。(JT：はいはいはい) ま
韓国ニン 人の場合は 日の丸 見れば、